

岡山いきいき子育て応援事業補助金交付事業

補助事業者名：一般社団法人チカク

事業名：健全な子どもの育みを支援する調査および講習の開催について

テーマ1

何がすき？どこに行く？何して遊ぶ？こどもアンケート

まとめ【速報】

Ver. 1.2

目 的

- ✓ 児童館や遊園地の閉鎖など、都市部の子どもたちを取り巻く環境が変化している。子育て世代の日常について調査し、子どもの遊び、学びの実態とその変化を調査する。

■ 内 容

- ✓ 県内在住の園児～小学校3年生ぐらいの子供を持つ保護者。関係者へのヒアリングによって作成した、選択式と記述式をあわせたアンケートへの回答。結果は、ホームページからpdfで自由にダウンロードできるものとする。
- ✓ 回答締切、2010年3月3日到着分まで
- ✓ 調査方法は、専用用紙（添付）への記入・返送か、PCおよび携帯電話によるWEBアンケートへの回答

■ コアターゲット

- ✓ 岡山県内在住の園児から小学3年生ぐらいまでのお子さんをもつ保護者の方

■ 目標の達成度

- ✓ 今回のアンケートは、以下の①②のような目的で手法をさだめて準備をすすめ、これについては達成できたと考えている。
 - ① 大きく社会の変化の兆しを感じられる中で、こどもたちの育つ環境が、今後どう変化していくか、その継続的な観測の基点として、自由な記述を優先して意見を収集した
 - ② 調査する側の先入観を可能な限り排除し、結果から何か結論を導き出して提供するのではなく、子育て支援の現場に、さまざまな「声」を一覧できる形で提供することも目的とした
- ✓ ただし、上記のとおり、自由記述を多くしたため、集計に手間がかかり、調査報告の提出は、一部速報となっている。今後、専門機関と精査して、WEB・郵送などで結果の周知共有に務める。
- ✓ 今回は倉敷市を中心に配布し、そのほかに県内の児童館、子育て支援センターに配布した。後援をいただいた倉敷市子育て支援課の後押しもあって、倉敷中心市街地については、サンプル数が集まったが、その他の地域のサンプル数が少なかった。

■ 参加者満足度

- ✓ 配布のタイミングについて、もう少し早くという声があった。
- ✓ 他の人がどうしているか、知りたかった、という意見もあり、結果については、WEB上で公開していきたい。
- ✓ 結果のフィードバックについての関心が高かった。

■ 結果

良かったこと（想定内）

比較的熱心な保護者からの回答が多く、現在の子育ての生の声が聞けた。

同（想定外）

こどもらしい遊びのアイテムが随所に見られ、少し安心したところがあった。

悪かったこと（想定内）

手を差し伸べるべき対象となる家庭の意見が聞けているかどうか、常に不安がある。

同（想定外）

回答謝礼の通知に対する、返信率が低く、メールで督促をおこなった。作業の負担軽減のために、次回は方法を検討したい。

WEBアンケートへの回答率が低かった。また、一部アクセスしづらいなどの問題点があった。

■ 来年度実施する内容

- 今後、専門家と精査し、来年度以降のアンケートの設問、調査方法について検討しながら、今回の内容を基点に、選択肢を明確にして、継続的に調査を重ねていきたい。

■ 担当者所感

- 子育てをイメージする言葉として明るい言葉が多い一方で、不安を尋ねる設問で、こどもたちを取り巻く環境についての心配ごとが多く聞かれた。
- メディアやクチコミ、インターネットなどによる情報の氾濫に、親側の対応が追いついていない印象を受けた。メディア・情報が、子育てに与える影響について、考えさせられた。
- 「チボリがなくなってさびしい思いをしていたが、チカクのような団体が生まれていてうれしい」というコメントがあり、うれしかった。

■ あなたの家庭の子育てのイメージは、どのような言葉であらわすことができますか。

>>で始まるコメントは、その上の✓のコメントに含めて数えています、ご意見として載せています。

楽しく、明るく、にぎやか

- ✓ 明るい・楽しい・元気に、など (26)
- ✓ にぎやか・ワイワイなど (8)
- ✓ 笑顔 (2)
- ✓ 元気にたくましく (2)
- ✓ 毎日楽しい毎日幸せ
- ✓ 楽しみながら学ぶ
- ✓ 楽しい、うれしい、大好き

のびのび、自由に

- ✓ のびのびと、など (21)
- >> 子供がやりたいことを自由にさせている。小さいうちはのびのびと遊ばせたいです
- >> のびのび元気に。他人の気持ちを考えることのできる子に。
- >> できるようにゆったりと
- >> 自然
- ✓ 自由 (8)
- >> 安全、自由
- >> 自由奔放

ともに学び育つ など

- ✓ 子育て=親育て、ともに成長、など (22)
- >> ”共に成長” その先に”楽”。はじめてのことだらけ、だからこそ親も体験をして子供ともに成長する
- >> 親子で成長する。無理しない。神経質になりすぎない
- >> 親の姿を見て育つ親子である、友達であり、子供が親のように感じうれしく思うことがある
- >> 自分も磨く大切な時間

- ✓ 積み重ね
- ✓ 同じ時間を共有。
- ✓ 理解
- ✓ 寄り添う
- ✓ 会話

大変だけど楽しい…

- ✓ 大変だけど楽しい、など (7)
- >> 理想は子供と一緒に毎日楽しくゆとりある子育てですが、実際はあわただしい毎日
- >> 忙しさ・大変さの中にも新しい発見や喜びを見いだすことのできる幸せ
- >> 子供の成長を側で見る&感じる事はとても楽しい、でも時には我慢&忍耐があるので大変。

見守る、個性を大切に など

- ✓ 見守る、挑戦させる、干渉し過ぎない、など (13)
- >> 手を放せ、されど、目を離すな
- >> 間違った方向に行かないよう
- >> みんなで目を配る、見守る、祖父母と同居なので(両親共働き)
- >> まずは自分でやってみる。先に親が手や口を出さない。
- >> 子供の持っている力で育つ過程の手助け、愛情に包んで育ていく
- >> 子供たちが、やりたい事は出来るだけやらせてあげる
- >> 子供のペースで、子供の目線で
- >> 種まき。いつか出てくる芽を信じて待つ。むりやり助長しない
- ✓ 個性を大切にしたい (5)

- >> 小さいけれど1人の「人」として子供を尊重したい。その子らしさ、良いところを認め、子供とともに学んで成長していきたい
- >> 個性をのばす。人生が楽しいと思ってもらいたい。
- >> その子にあった育て方「個」を見つけてやる
- >> どの子もその子がそれぞれ一番。元気は財産。

しつけ、礼儀…

- ✓ 厳しく、優しく (12)
- >> おおらか、おおざっぱ。厳しく優しく
- >> 日々楽しく、悪いことはしっかりとしかる。
- >> メリハリのある躰。(怒るときは厳しく、ほめる時は優しく)
- >> 働かざる者食うべからず
- >> 大事なところだけきっちり。
- >> 時々べったり時々クール
- >> スキンシップをはかる 怒ったりほめたりきちんと言う
- ✓ あいさつはきちんと、礼儀たたく (9)
- >> 一般常識や礼儀作法を日頃から身につくようにする
- >> 今を生き生きと生きる。習慣や基本のしつけはしつけえほど繰り返しながら。
- >> 人に優しく自分にも優しく。でも約束を守る、礼儀はもちろん
- >> 子供の気持ちを大切に、でもしつけはきちんと
- ✓ 人に迷惑をかけない範囲で、自分らしく
- ✓ ほめること、でもとても難しい
- ✓ 愛、わが子もよその子も

- ✓ 他人にやさしくできる子、元気にのびのび育てほしい
- ✓ 友達とたくさん遊ばせる、自分に自信がある子にさせたい、自分に強い子
- ✓ 子どもが一人で生きていく力を身につけること
- ✓ 自立
- ✓ 自分で責任を持って。
- ✓ 集中力 優しさ 思いやり 忍耐 協力 最後までやり遂げる
- ✓ どちらかというと厳しい
- ✓ すくすく元気に育てる、よく食べ、よく笑い、よく寝る
- ✓ 女の子らしく、素直な子
- ✓ のびのび、人の話をきく、丁寧な言葉遣い

家族関係、愛、ふれあい など

- ✓ 家族が仲良く楽しく (7)
 - >> 家族での共同作業
 - >> おじいちゃんおばあちゃんと仲良く元気で素直な子に育つように
 - >> 下の子(小さい子)への思いやり
- ✓ 幸せ・愛情など (4)
- ✓ 信頼関係を大切に
- ✓ はぐくむ
- ✓ 一番大切にしているのは、『ふれあい』です。親子のふれあい、動物や自然とのふれあいなど。あとは、『のびのび、楽しむ』

- ✓ 人に優しく笑顔を忘れないこと
- ✓ 子供らしく素直にそして明るく優しく(でも時に厳しく)
- ✓ 素直に育てほしい

大変、忙しい、忍耐・・・ など

- ✓ 待つ・忍耐など (4)
- ✓ 大変
- ✓ 忙しい。時間の余裕がない
- ✓ 忙しい
- ✓ 体力、くりかえし
- ✓ 父親の休みが少ないので家族そろって出かけることが少ない。母子2人が多い。
- ✓ まさしく核家族
- ✓ 反省の日々
- ✓ 今ははっきりいって、嵐。
- ✓ ガミガミかあちゃん
- ✓ わからない

その他・・・

- ✓ 療育経験と子に応じた支援。いい加減はいい加減。
- ✓ 遊びの中で育てる
- ✓ 子供時代の追体験
- ✓ 昭和40年代の子育て(自分が育った時代)

- ✓ よく学び、よく遊ぶ。いろんな体験をして人と交わる。絵本をたくさん読む
- ✓ 育児
- ✓ 支援。
- ✓ ほどほどに
- ✓ 親中心。ボランティア活動、サークル研修など可能なところへは子連れで行き、いろんな人との交流がある。
- ✓ 喜怒哀楽
- ✓ 楽・音・話
- ✓ ずばり！ふつうの家庭。
- ✓ やる気
- ✓ アクティブ&クリエイティブ
- ✓ きらきら、生き生き
- ✓ ほがらかに。
- ✓ かわいい
- ✓ あたたかい
- ✓ ほんわか
- ✓ ほのぼの
- ✓ すくすく
- ✓ まったり
- ✓ 花
- ✓ 幸
- ✓ わたがし

■ こどもたちを取り巻く環境について、ここ数年、感じる変化や不安を記入ください。

希薄な人間関係・モラルの低下

- | | | |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ✓ 世の中がギスギスして、余裕がなくなっている (5) ✓ 近所づきあいがないので、顔見知りが少なく、注意する大人もいない (5) ✓ 挨拶のできない子供だらけなのは親もそうだから。他人に無関心な親が多い／乱暴な子どもや言葉遣いが悪い。(4) ✓ 少子化で近所に子ども的人数が少ない。子どもは子どもの中で、(大人にそっと見守られている中で) 育つもののように思う。(4) ✓ 近所に同年代の子供が少なく、いっしょに遊べない。社会性が身につくのか不安 (4) ✓ 地域の行事が少なかったり、しごとがいそがしかったりして、親以外の大人とも、同世代の子供ともふれあう機会が作ってあげられない。(3) ✓ 子どもだけで異年齢の子との遊びや集団遊びができてない/機会がない (3) ✓ 自己責任で遊ぶ機会が減った(危なくないように配慮しすぎ)／環境が整備されすぎ、自らが決定力・予測力に乏しく、年齢が増すごとに無気力に感じられる (3) ✓ 子供同士のかかわり方が、薄い (3) | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 子どもが悪くても、注意出来ない親、大人が増えている (2) ✓ 子供同士の関わりに、親が介入しすぎ (2) ✓ しかられることが少なくなっているせいか、目上の人・年上に対する態度や言葉があられている。(2) ✓ 同級生が習いごとを沢山しているのに、友達同士の遊びが放課後減った (2) ✓ 習い事をつめすぎの子供たちのストレス。 ✓ ストレスを抱えている 手伝いを条件付きでする 体力の低下 ✓ 幼児への教育の過熱化 ✓ 毎日の生活や幼稚園の行事などでゆっくりした時間がない ✓ 子供たちの行事が少ないので土曜日がひまになる。土曜日に学校に行ってほしい ✓ 参観がない。子供達の社会性が未熟。親も未熟。 ✓ 携帯による友達関係の繋がりが ✓ 核家族なので、昔ながらの伝統や目上の人との関わり方(礼儀など)を親である私たちが教えていかないといけないこと。 ✓ 人と人とのふれあいがなくなり過ぎで心配 ✓ 物があふれているので、がまんを教えるのが難しい ✓ 親同士「お互い様…」ということが減り、周りに気を使って生 | <ul style="list-style-type: none"> 活していけないといけなくなった事。 ✓ 親同士が友達にならないと子供同士で遊ぶことがないのが難しく思う。 ✓ 親が全体的によくわからない ✓ 園からのお便りで保護者は私語をしないでと書かれている。親の教育が必要なのかな。 ✓ キレル子供 ✓ 不安になっても仕方がないので、与えられた環境の中で、なるべく笑顔が多くなるように心がけています。 ✓ 子育て支援がよくなっている。 ✓ お金さえ出せば、簡単に託児をする場が増えたが、職員が未熟、金額に見合う指導内容に欠ける。 ✓ 小学校が小規模なので不安 ✓ 時間が関係なくなっているような気がする。うちは朝は10時から外へ出れる。お昼は帰って、夕方も17時までには帰るが、周りは早いときで7時半、お昼も食わず、13時14時、夕方も19時くらいまで親同伴なのに。 ✓ メディアの影響 ✓ 核家族化 ✓ 鍵っ子が多い気がする ✓ 親子共に勉強(友だちとのつきあい方) |
|--|---|--|

遊び場の減少・交通・治安

- ✓ 近所に遊び場がない、少ない (14)
- ✓ 安心して遊ばせられる場所がない、少ない (12)
- ✓ 子供だけで外に行かせられない、不安、危険に感じる (12)
- ✓ 戸外で遊ぶ子供が減ってきている (8)
- ✓ 子供が自由に遊べる場所が少なくなった (3)
- ✓ 近くに公園がない。あっても交通量が多く、親が公園まで連れていけなくてはいけない (2)
- ✓ 不審者・変質者が多いので、目が離せない (14)
- ✓ どこに行っても、いつでも犯罪ばかりで怖い／不安 (5)
- ✓ 一般車の運転が荒く、事故にあいそうで不安 (4)
- ✓ 歩道歩いて手も、歩道に車止めたり、マナーが悪い (3)
- ✓ 通学路などの治安、交通量 (2)
- ✓ 子どもの肩身がせまい。子どものいる家庭も。外に出ずじっとしている子が「いい子」とされていることに不安を感じる。
- ✓ 外で遊ばしていると、子供不在の家の人の目が気になる
- ✓ 親世代も核家族で育ったせい、交流・地域との接触からさけているように思うことがある。
- ✓ 昔のように子どもだけで遊ばせるのはこわいが、過保護すぎるところもあると思う。もっと厳しく怒ってもよいと思う。

- ✓ 近所に安心して遊ばせられる場所がなく、子供が外で遊ぶのを見かけなくなったと思う。
- ✓ 子供1人で外に一歩も出す気持ちになれない。とはいえ、ずつつきそうなのは不可能
- ✓ 遊ぶ場所や、近所で遊ぶ子供が少ない。犯罪に巻き込まれないか、不安
- ✓ 子供が犠牲になる事件が後をたたない、親の時代とのギャップが有りすぎる
- ✓ 犯罪、喫煙、交通事故
- ✓ 誘拐、殺害、いたずら
- ✓ 少年犯罪の増加
- ✓ 犯罪の低年齢化
- ✓ 幼児を狙った事件

教育、いじめ、大人との関わり

- ✓ 学校内でのいじめ
- ✓ いじめや非行と共に親が抱えている問題にも影響があると思う
- ✓ 勉強ばかりでかわいそう
- ✓ ゆとり教育が終わり、良かったと思う。
- ✓ ゆとり教育をやめてほしい。一年生から昔のように5教科を徹底して教えてほしい
- ✓ 学校での勉強時間の少なさ、土曜休日、ゆとり教育
- ✓ いじめ、教育者も信用できない部分がある
- ✓ いろんな事件やイジメが心配、昔に比べ子供達も成長が早いので、イジメも心配

インターネット・メディアの影響

- ✓ テレビやビデオ・DVDが早くから身近にある、思考力を育てることができるか心配
- ✓ 情報やモノがあふれすぎていて、人の関わりが希薄になっている、生活習慣、食事の乱れ。
- ✓ 格差が大きくなり、どこまでやればいいのかわからない
- ✓ TVで、教育に悪い言葉や画像が多い。(Hなシーン。死ね！とかばか！とか)
- ✓ とても便利ではあるが、携帯やインターネットによる悪影響 (4)

携帯・ゲーム

- ✓ テレビ、ゲーム遊びが増えている・低年齢化してきている (8)
- ✓ ネット、ゲーム、携帯等、親が分からない部分が多い
- ✓ ゲームやおもちゃが多すぎる
- ✓ テレビゲーム、携帯ゲーム、携帯電話などメディアの反乱、読書ばなれ、言語能力の低下
- ✓ ゲームの世界と現実の世界を近藤してしまうのでは？
- ✓ 携帯電話所持、外で遊ぶときの事故、事件
- ✓ 個人でやるゲームが普及して、コミュニケーションがとりにくくなっているのではないかと。

その他、環境

- ✓ 22年度から6年まで学童が利用出来ることになったが、長期のみの利用は市が許可しないとのこと。利用者のご理解していない。
- ✓ 不況なので治安が悪くなるのではないか。
- ✓ 不景気による就職難など。
- ✓ 高齢化社会
- ✓ 国の借金ばかり増えて、この先どうなるか不安
- ✓ 祖父母世代との交流がすくない
- ✓ 年金(子供達が社会人になった時の負担)
- ✓ 近所の公園に危険物がよくある(くぎ、ブランコを使用不能にするなど)。管理をきちんとしてほしいです。
- ✓ 外で遊ばせる(自然)が少ない
- ✓ 体力の低下、ゲームの普及、子供同士の遊びの変化
- ✓ 町(公共の場でもスーパーなどでも)は年々子育てがしやすくなっています
- ✓ 発達障害の増加
- ✓ 思春期なのか、全体的か雰囲気がかわってきた。
- ✓ **地球温暖化 (4)**
- ✓ 環境汚染、農業、添加物
- ✓ 食生活。生きて行く上で不可欠な食事は、本当に大切だと思う。食育はぜひ積極的にしたい。
- ✓ 今の環境は意識しないと、自然に触れ合う機会を作れない。
- ✓ 自然と触れ合う機会が少ない
- ✓ 住んでいる地域は比較的近所付き合いも多く、子供のことをよく知り、声がけもあるが、一人で子育てに悩んだ末に事件を起こしたり、虐待・・・という報道を聞くと、胸が痛む。
- ✓ イベントへの参加は、ここまで大きくなるとむずかしいかも。

未就園まで位のほうが、参加しやすい。小学生になると務めている人が多いし、週休二日制になった学生は親が働いていると、とにかく不便が多いと感じている人は周りに多数いる